

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら 堺教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 10日		2025年 10月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団のプログラムが充実していることだと思います。	3歳から6歳のプログラムでは、発声、抑制のプログラム、質問、運動、5領域の中からの集団プログラムが行われています。集団であっても、個々の発達に応じた質問や集団内容を考え取り組んでいます。	様々なプログラムがありますが、まだ他にも適した集団のプログラムがあると思いますので、勉強会により、プログラムの幅を広げるように取り組んでいきます。
2	発達年齢等に応じて、時間や部屋がわかれていることです。	児童発達支援と放課後等デイサービスの支援室が別にあります。児童発達支援の中でも、午前は1歳児から3歳児の言語や身体の発達を主に支援し、午後は3歳から5歳の発達支援を行っています。そのため、体格差がなく安全に支援できます。	年齢や発達に応じて、保護者の方と相談して選んでいただいておりますが、クラスの内容をさらにわかりやすく提示し、より良い療育を受けていただけるようにしていきます。
3	総合的な支援が行える施設のプログラムや設備になっていることです。	低年齢の児童には集団の指示がわかりやすいように音楽（ピアノ）を取り入れ、運動、微細、SST、言語、認知発達に必要なプログラムを行っております。運動や音楽、認知等に必要な物もそろっています。	今後は、現在ある療育プログラムやグッズの中でも、より個々の児童に合った療育方法を話し合い、さらに深めて参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	食事の実際の支援がないことです。	お昼ご飯は保育園やご自宅とっていただいている、栄養士が在籍していないので、提供は購入のおやつのみになっています。	スプーンやおはしなどは療育の中で行っており、流しそうめんのイベントで、おはしやフォークの実践をしています。スプーン支援の実践として、スプーンで食べるイベントもあれば良いと考えます。難しい場合は、親子参加も考えていきます。
2	児童発達支援では、外出や公園遊びが年に数回しかありません。	低年齢の児童が遊びやすい公園が少し離れており、大通りをとおることが少し危ないと感じています。	避難訓練やハロウィンイベントの他にも、事前に外出予定をいれることも検討していきます。
3	保護者交流会が年1回、兄弟児の交流会が年4回ほどと少し少ないです。	毎年1回開催しておりますが、保護者様の集まりが多いため、開催日程を悩んでいます。	日数を多くする、出席しやすい曜日や時間をアンケートしたりしながら調整していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こぼんはうさくら堺教室

公表日 2025年 10月 31日

利用児童数 45

回収数 36

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36				広々としていていつも綺麗に整頓されると感じます。	ご意見ありがとうございます。今後もしっかり清掃していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	36				子供達と関わってくださる職員の方がすごく多いと思います。配置数は充分だと思います。	ご意見ありがとうございます。今後もしっかり見守りしていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1			子どものヒアリングをしっかり行ってから支援計画を立ててください。しっかりと個別療育をしてくださってとても感謝しています。	ご意見ありがとうございます。今後も保護者の方と連携しながら支援していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35			1	きちんと面談の機会があり、しっかりと保護者の意見や困り事を聞いてくださってから支援計画を立ててくださっています。	ご意見ありがとうございます。今後も保護者の方と連携しながら支援していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1		11		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			12	いつもしっかりと計画に沿った個別療育をしてくださってとても感謝しています。	ご意見ありがとうございます。今後も児童の様子と計画を確認しながら支援をおこなっていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34			2	その月のイベントもたくさん入れてくださっていて子供も楽しんで参加しています。	ご意見ありがとうございます。定期的に楽しいイベントを企画していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	22	4		10		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	1			利用者負担について、職員変動などによりどれが算定されて計算されているのかわかりにくかった。	ご意見ありがとうございます。契約時により詳しく説明できるようにしていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27			9		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	2	3	6	我が子ですが、どう接していいかわからない場面も多いため、保護者向けの研修があればぜひ参加したいです。	ご意見ありがとうございます。今後、ご案内ができるように体制を整えて参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	35	1			療育内容や療育の様子を毎回しっかりと伝えて下さり嬉しいです。こちらから最近の様子（保育園での出来事や自宅で買ったこと、本人の今日の気持ち、最近の気持など）を伝える機会や時間が少ないと感じます。こちらから伝えられる連絡帳やハグで報告したいツールがあればいいかなと思います。	ご意見ありがとうございます。保護者の方からはHUGアプリの連絡ツールでお伝えいただいておりますが、連絡袋に入れていただける連絡用紙をご用意しました。ぜひご活用ください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34			2	子育ての助言をもっと頂きたいです。	ご意見ありがとうございます。フィードバックの際や月4回まで個別の面談も可能でございますので、ぜひ申し込み用紙やHUGアプリにてご連絡ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	26	3	2	5	イベントの際に保護者同士の交流もあれば話す機会ができるのかな？と思います。イベントに親も参加できれば嬉しいです！保育園の保護者同士では療育や発達について話すような交流がないので親同士の話し合いができる機会がいただけるととても気持ちが楽になる気がします。	ご意見ありがとうございます。ご兄弟が参加できるイベントとしましては、親子サッカーを年3回ほど、他にお餅つき等を行っております。保護者会を年1回開催しておりますので、今後他に交流できる機会を検討して参ります。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	1		3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28			8	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	2		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	2		7	基本的には楽しみですが、日曜や幼稚園が休みの日は行きたくないと言ったこともあります。7月末から通い始めたのですが、本当に楽しく通わせて頂きありがたいです。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36				ご意見ありがとうございます。今後も、お子様が安心してできるよう、職員一同支援に携わって参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	3			ご意見ありがとうございます。保護者の方のお力添えがあり、児童の皆様とより良い関係が築けています。今後も、お子様の成長と一緒に見守っていただけるよう、職員一同支援に携わって参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36				ご意見ありがとうございます。保護者の方のお力添えがあり、児童の皆様とより良い関係が築けています。今後も、お子様の成長と一緒に見守っていただけるよう、職員一同支援に携わって参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こばんはうすさくら 堺教室		公表日		2025年 10月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	定員10名に対し、午前と午後の二部制になっており、十分な空間で療育を行うことができている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	時間の構造化：TEACCHによるスケジュール。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	集団活動など、参加したくない時はその思いを尊重し、見学する場所を提供している。感覚過敏のある児童に対して、自ら使用できる安全基地を設置している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	支援会議を定期的に行い、個別支援計画作成にあたり、保護者様のニーズに加え、スタッフの意見を反映している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者様の意見や療育へのひっかかりなど、そのまま放置せず、改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	意見を率直に受止め、幾度となく改善に努めた。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	前年度は、実施したが今年度は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法人として外部による研修受講を定期的に行っている。また、スタッフの輪番制による研修機会を設け実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	アセスメント結果に基づいた個別性および保護者様ニーズと、スタッフの意見を反映した計画になっている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	定期的な支援会議と、各児童の課題袋に目標カードを貼り、毎日その内容に基づいた支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	事業所において標準化されたツールの使用であり、専門性のあるスタッフによるお聞き取りや行動観察によるアセスメントは十分になされている。	センターなどでも使用されている標準化されたツールを今後使用することも検討する。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	「本人支援」、「家族支援」「地域連携」に関しては十分に行われているが、「移行支援」の実施は実績がない。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	各スタッフの輪番制によって考案されている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎月、常に新しい活動が提供される機会がある。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	専門的支援実施計画に基づく個別活動や、それ以外でも毎回、個別活動および集団活動は必ず実施されている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼でその日の活動について周知し、終礼で振り返る時間を設けている。それ以外でも、個別にスタッフ間で進捗状況など確認が行われている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	上記の通り。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	十分な内容、量で記録されている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	見立て違い、反省など、常に見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	基本、児童発達支援管理責任者が参加している。参加にあたり、記録の確認やスタッフからの聞き取りなど、十分な準備の下で参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保育園等との情報共有を必要時に図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保護者様の必要に応じる形での実施となる。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	消防訓練やハロウィンでは、近隣の園と共同参加する機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回、お迎えの際に保護者様に対し、当日担当したスタッフが、その日の療育についてフィードバックを行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	プログラムや研修の実績はないが、面談の際にお伝えする機会がある。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	1			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	親子サッカー教室できょうだい同士で交流する機会があった。	保護者様同士の交流を媒介できる活動が、もう少しできたらと考えている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HUGを通して、情報を開示している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	おやつを提供がある午後の利用の児童には、ご家庭よりご持参いただいている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	担当者を決め、積極的な作成を推進している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的な研修を実施している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			